

退院後、帰ってからも 続けることは？

蜻蛉 リハビリだより 特集号

退院された方の中には、短期間の入院でも体力の衰えや能力に変化が生じる事があります。腰部脊柱管狭窄症と心不全を患いながら一人暮らしをされているAさんは貧血により約一週間の入院治療となり、車椅子生活を余儀なくされ、能力低下が起こりました。退院前、さんは「今までの生活を一人で続



在宅生活を再開されたAさん

退院後の支援には短期入所と通所リハビリテーションの機能を活用

けたい」と話され、家族は「今の状態での一人暮らしは不安です」と話されました。そこで、短期入所を提案し、①自宅内の安全な移動と病院までの長距離歩行②飲み忘れや落薬しない内服管理方法を目的に、約二週間の短期入所となりました。移動では、呼吸数と脈拍をチエックしながら、移動手段や歩行頻度を調整し、日常生活の中に取り入れられました。内服では、認知機能と管理方法を評価し、減薬調整や一包化についてかかりつけ医に相談し、日めくりカレンダーを使用した自己管理方法の訓練を行いました。結果、伝い歩きやバギーカー歩行となり、内服カレンダーから薬を選んで服用できるようになりました。

介護老人保健施設鴻池荘
サテライト蜻蛉

御所市茅原168番地の1

TEL0745(65)2201
FAX0745(65)2250
窓口：近藤、石田

創作活動



退院直後の不安への関わり

疾患の影響で閉じこもりがちになり、今の自分を知人に見られたくないと交流も趣味活動もしなくなりました。Cさん。退院後、通所リハに通い始めるも訓練以外は活動への参加も他者と交流する機会も殆ど見られませんでした。そこで、元々好きであった創作に触れる機会を設け、気持ちの変化を探りました。作品の中からこれなら出来そうという反応が見られた為、集団活動の輪に入れるよう設定することで、少しずつ活動への参加が見られるようになりました。Cさんにとつてピアサポートの場になればと考えています。

退院後支援 特集

今回は、地域の大型スーパーマーケットに行ってきました。入院前から転倒が多かったBさんは、家族と安全な外出を目指して、この外出リハビリテーションに参加されました。屈んで商品を手取る等バランスを崩しやすい動作への対応や体調を把握しながら店内を移動することをBさん自身がリスクを意識して行動出来るよう実施しました。帰りの道中Bさんは「買い物以外にも行きたい所がある」と話され、今回の体験を通して外出への自信に繋がったのではないのでしょうか。今後、リハ会議などで家族と本人の思いやリスク面について共有し、家族と外出を楽しんで頂きたいと思えます。



外出リハビリ

退院後、家族との外出を再獲得



今回は、地域の大型スーパーマーケットに行ってきました。入院前から転倒が多かったBさんは、家族と安全な外出を目指して、この外出リハビリテーションに参加されました。屈んで商品を手取る等バランスを崩しやすい動作への対応や体調を把握しながら店内を移動することをBさん自身がリスクを意識して行動出来るよう実施しました。帰りの道中Bさんは「買い物以外にも行きたい所がある」と話され、今回の体験を通して外出への自信に繋がったのではないのでしょうか。今後、リハ会議などで家族と本人の思いやリスク面について共有し、家族と外出を楽しんで頂きたいと思えます。